

## 2 運営概要

### 2.1 所在地

〒254-0014 平塚市四之宮 1 丁目 3 番 39 号

電話 0463(24)3311 (代表)

FAX 0463(24)3300

URL <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/b4f/index.html>

### 2.2 敷地及び建物

敷地 敷地面積 4,218.28 m<sup>2</sup> (平成7年2月10日 995.12 m<sup>2</sup>増)

建物 延床面積 7,098.10 m<sup>2</sup>

本館棟 鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階、地上4階 7,048.80 m<sup>2</sup>

付属棟 鉄筋コンクリート造 地上1階 49.30 m<sup>2</sup>

### 2.3 環境学習施設

施設名称	施設概要
環境学習室	映写設備つきの講義室 (40 人収容)
実習室	理化学実験機材を備えた実験室 (40 人収容)

### 2.4 環境常時監視施設

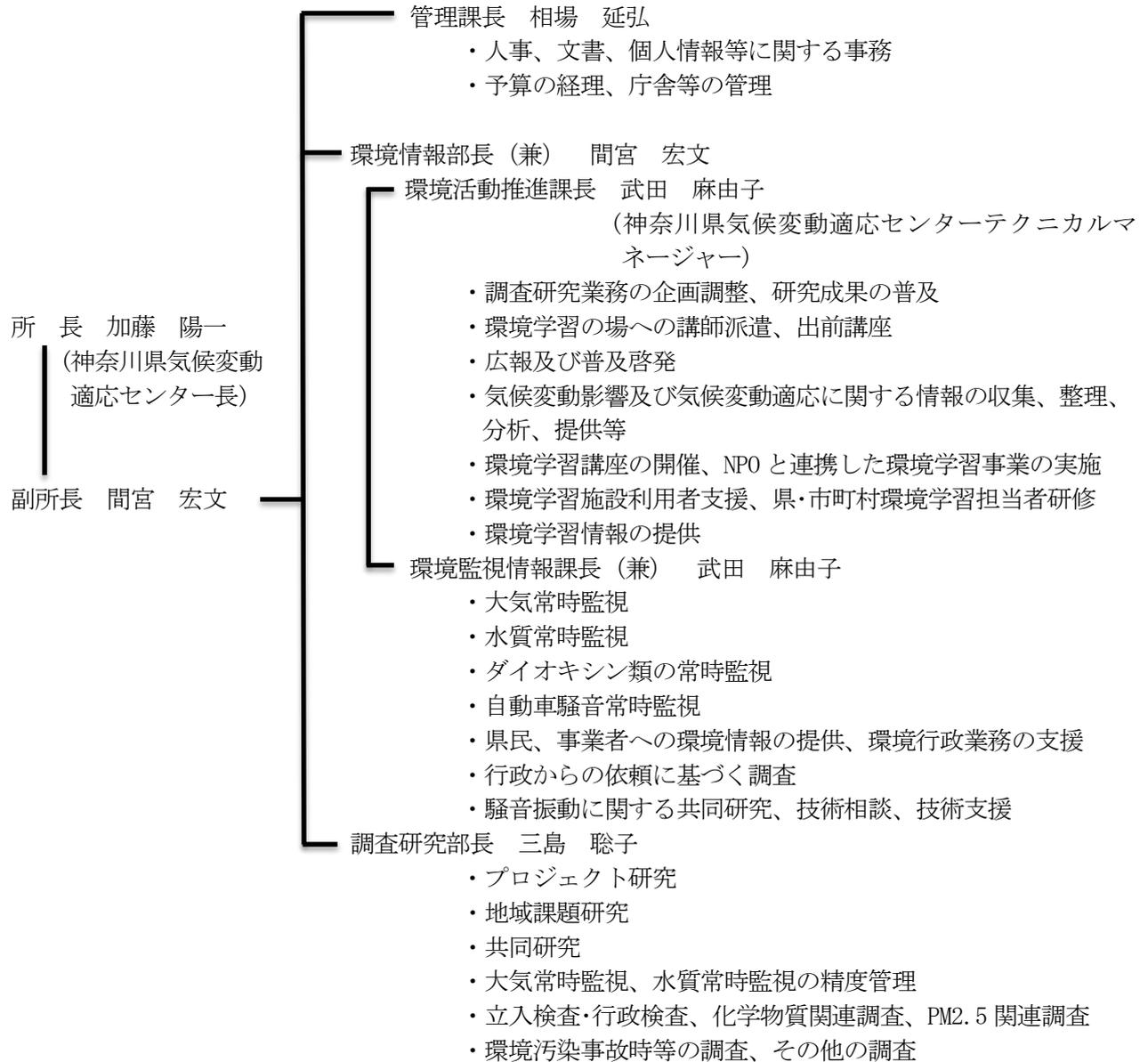
施設名称	施設数	設置場所 (局名)
大気汚染常時監視測定局	27	
(内訳)		
一般環境大気測定局	16	鎌倉市役所、逗子市役所、三浦市城山、厚木市中町、大和市役所、海老名市役所、座間市役所、綾瀬市役所、愛川町角田、茅ヶ崎市役所、寒川町役場、秦野市役所、伊勢原市役所、南足柄市生駒、小田原市役所、箱根町宮城野
自動車排出ガス測定局	9	鎌倉市岡本、逗子市逗子、厚木市金田、厚木市水引、大和市深見台交差点、茅ヶ崎駅前交差点、秦野市本町、伊勢原市谷戸岡、小田原市東町
移動測定局	1	移動局山北町
研究用測定局	1	西丹沢犬越路

### 2.5 主要検査・研究機器 (令和7年4月1日)

品目	規格
走査型電子顕微鏡	日立ハイテクノロジーズ (現:日立ハイテック) SU3500
磁場型ガスクロマトグラフ質量分析計	日本電子 JMS-800D
ガスクロマトグラフ質量分析計	島津製作所 GCMS-QP2020
キャニスター濃縮導入装置付ガスクロマトグラフ質量分析計	Agilent 社 5977B GC/MS
VOC 用ガスクロマトグラフ質量分析計	島津製作所 GCMS-QP2020、HS-20 ほか
高速液体クロマトグラフ質量分析計(LC/MS/MS)	Waters Xevo G2-XS QToF
イオンクロマトグラフ	Thermo Scientific INUVION ほか
熱光学式炭素分析計	SUNSET 社 Model115
ICP 発光分光光度分析装置	Agilent 社 5800 G8018AA
ICP 質量分析装置	Agilent 社 7800 G8421A
デジタルPCR及び大容量自動核酸抽出装置	QIAGEN 社 QIAcuity One 2plex Platform System FUL-1 Thermo Fisher Scientific KingFisher Duo Prime

## 2. 6 組織及び業務内容

環境科学センターは、「良好な環境の確保に必要な試験研究・調査・指導等並びに環境保全の啓発及び普及を行う」（神奈川県行政組織規則）ために設置された試験研究機関である。



## 2. 7 職員配置数

(令和7年4月1日現在)

種別 \ 所属	所長	副所長	管理課	環境情報部	調査研究部	計
事務系		1	5	2		8
技術系	1			10	15	26
(うち研究職)	(1)				(15)	(16)
合計	1	1	5	12	15	34
(うち研究職)	(1)				(15)	(16)

※ 再任用を含み、非常勤職員等を除く。

2. 8 予算執行状況

2. 8. 1 令和6年度歳入歳出決算額

環境科学センターの令和6年度の歳入決算額は1,165,432円、歳出決算額は549,187,533円であった。  
歳入は受託事業収入、庁舎の使用料及び自動販売機設置場所貸付収入等で、歳出の科目別決算状況は次のとおりである。

令和6年度 歳出決算額総括表

(単位：円)

会計	款	項	目	決算額		
一般会計	総務費	総務管理費	一般管理費	12,631,663		
			財産管理費	37,067,800		
			I C T 推進費	39,600		
		政策費	政策調整費	1,949,958		
		安全防災費	災害対策費	39,666		
		環境費	環境管理費	環境科学センター費	維持運営費	117,307,256
	研究調査費				9,233,938	
	環境情報推進費				26,345,044	
	脱炭素推進費				3,196,652	
	環境保全対策費				169,840,132	
	環境保全対策費		大気水質保全費	168,338,437		
			廃棄物対策費	1,501,695		
	計				377,651,709	
	水源環境保全・再生事業会計		水源環境保全・再生事業費	保全・再生事業費	自然保護費	785,516
					水源環境調査費	170,750,308
		計				171,535,824
	合計				549,187,533	

2. 8. 2 年度別歳出決算額 (平成26～令和5年度)

(単位：円)

年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額	472,729,401	389,012,210	373,109,739	369,336,415	491,924,899
年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
決算額	484,092,996	408,674,509	376,123,225	366,769,838	502,107,452

## 2. 9 環境安全管理協議会

平成3年度、当センターが現在地に立地するに際し、「先端技術産業立地環境対策暫定指針」（平成2年7月策定、平成5年10月に「神奈川県先端技術産業立地化学物質環境対策指針」に改正、平成17年3月で廃止）に基づき「業務に伴って生じる公害及び災害事故を未然に防止し、地域住民の安全と健康を守り、生活環境を保全する」ことを目的に、平塚市長、地元5自治会長（現在6自治会長）、神奈川県知事との間で「神奈川県環境科学センターに係る環境安全協定」を締結した。また、この協定に基づき、関係当事者に学識経験者をメンバーに加えて「神奈川県環境科学センター環境安全管理協議会」を設置した。

環境安全管理協議会では、毎年度、当センターで使用する化学物質、微生物、放射性物質の安全管理並びに大気汚染防止対策、水質汚濁防止対策、廃棄物対策、災害事故防止及び自己監視に関する事項、環境安全組織の整備等の環境安全計画及び前年度分の自己監視測定結果について協議している。

令和6年度は6月25日（火）に協議会を開催し、令和5年度分の自己監視測定結果等について協議し、結果を平塚市長へ書面で報告した。